

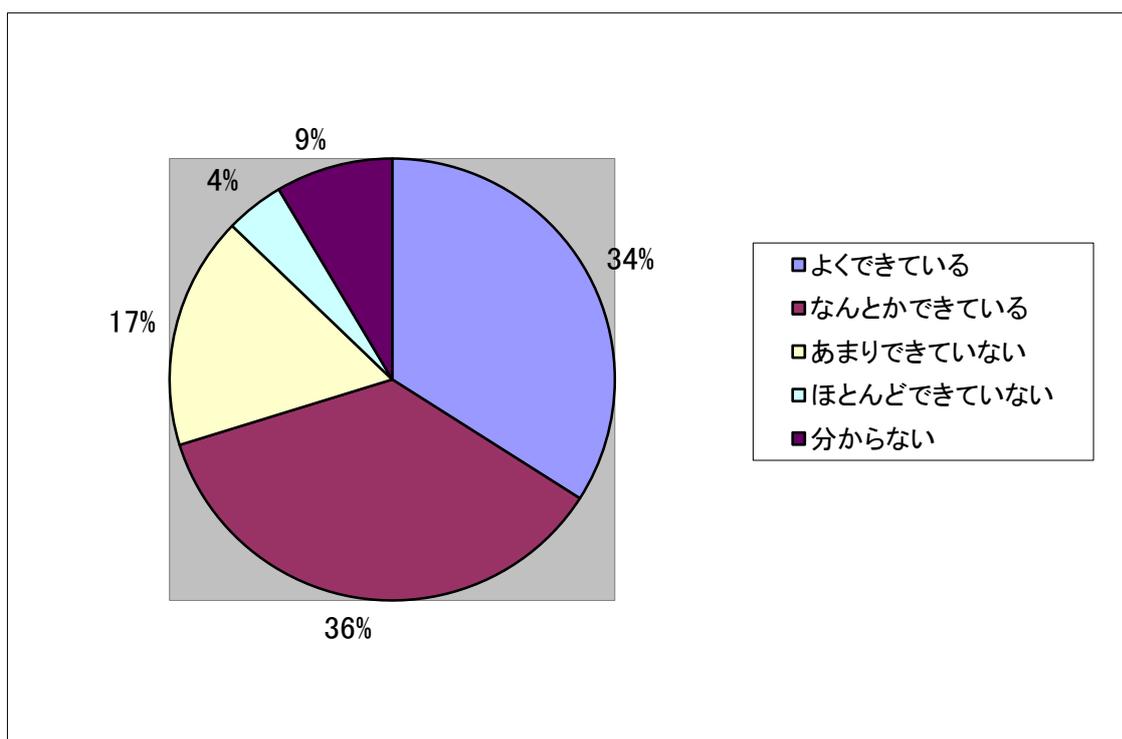
【スタッフ個別評価】

5. 多機能性ある柔軟な支援

今回の自己評価の状況

	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	分からない
① 自分たちの事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	2	4	3	1	1
② ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当・適切に提供されていますか？	5	4	2	0	1
③ 日々の関わりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか？	3	6	2	0	1
④ その日、その時の本人の状態・ニーズに合わせて、柔軟な支援ができていますか？	6	3	1	1	1
	16	17	8	2	4

5. 多機能性ある柔軟な支援



【できている点】

- ・ミーティング時のケア会議を実施しています。
- ・ご利用者(ご家族)の急な予定変更にも対応しています。
- ・予定外の受け入れも。ある程度は対応ができていますと思います。

【できていない点】

- ・地域の資源を使っての支援
- ・長期宿泊者の発生への改善
- ・常時宿泊があるため、本当に必要なご利用者の宿泊ができない場合がある。(5人以上になるため)

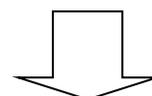
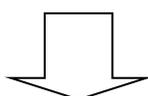
【なぜ？どうして？できていないのか？(その理由)】

- ・日々の利用者数が多すぎる。
- ・スタッフ数の不足。
- ・急な予定変更時に対応にあたる、スタッフがいないため。
- ・地域の方との深い交流がないため。

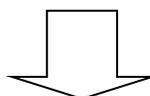
【事業所評価】

5. 多機能性ある柔軟な支援

	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	分からない
① 自分たちの事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	2	4	3	1	1
② ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当・適切に提供されていますか？	5	4	2	0	1
③ 日々の関わりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	3	6	2	0	1
④ その日、その時の本人の状態・ニーズに合わせて、柔軟な支援ができていますか？	6	3	1	1	1
	16	17	8	2	4



許容できる程度である	改善を要する範囲である
33	14



【評価内容のまとめ】

現状においては、介護サービスを実施するに当たっての、深刻な状況にはない。現場においても、運用上に大きな支障事案も発生していないことから、比較的良好的な状態にあると評価します。本来、小規模多機能型介護は柔軟性を求められているため、この点においては本来の目的を果たしている状態にあると評価して良いと言えます。しかし、一方で柔軟であればあるほど、人員(数)が必要になるため、収益とのバランスが課題となる事案が多くなる。

- ①ご利用者都合による、急なご要望への対応スタッフの確保

